兵庫県保険医協会歯科部会 3月歯科定例研究会のご案内

攻めの保存治療 -MTAとCRの活用-

 $_{\rm B}$ 号 $_{\rm B}$ $_{\rm B}$ $_{\rm B}$ $_{\rm B}$ $_{\rm B}$

会昌•無料

会場 兵庫県保険医協会会議室(神戸フコク生命海岸通ビル5階)

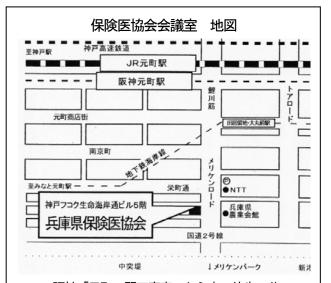
講 師 神戸市中央区・高田歯科院長

高田 光彦 先生

定 員 120人(事前申込順)

昨今、MI 治療が声高に訴えられる時代に変わりつつ あることを多くの歯科医師が実感しているであろう。 当院でも開院当時は多数歯補綴やインプラント治療が メインであったが、現在では補綴もインプラント治療 もそのケース数は格段に減少している。

その要因として、2008年に導入したマイクロスコープによる拡大診療と2007年以降日本国内で導入が始まったMTAや、その後発商品であるバイオセラミクスと呼ばれるカルシウムシリケートマテリアルの臨床導入が大いに関連している。その結果、最近では補綴治療よりも保存治療が、その中でもバイタルパルプセラピーと呼ばれる歯髄温存治療が医院の診療の柱となっている。またそれに伴い補綴治療よりも部分修復治療が占める割合が上昇してきたこともありCRの活用頻度も増えている。



JR・阪神「元町」駅下車東口から南へ徒歩7分 お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用下さい。 協会未入会の先生は、ご入会の上ご参加下さい。

今回の講演の中では、当院におけるバイタルパルプセラピーの実際と、審美的コンポジットレジン修復の 手技等について、様々な動画とともに紹介させていただく。【高田記】

参加申込書

3月26日 歯科定例研究会に参加します。

地区(市区町)	医院名()	
電話()	FAX ()
参加者氏名	()		